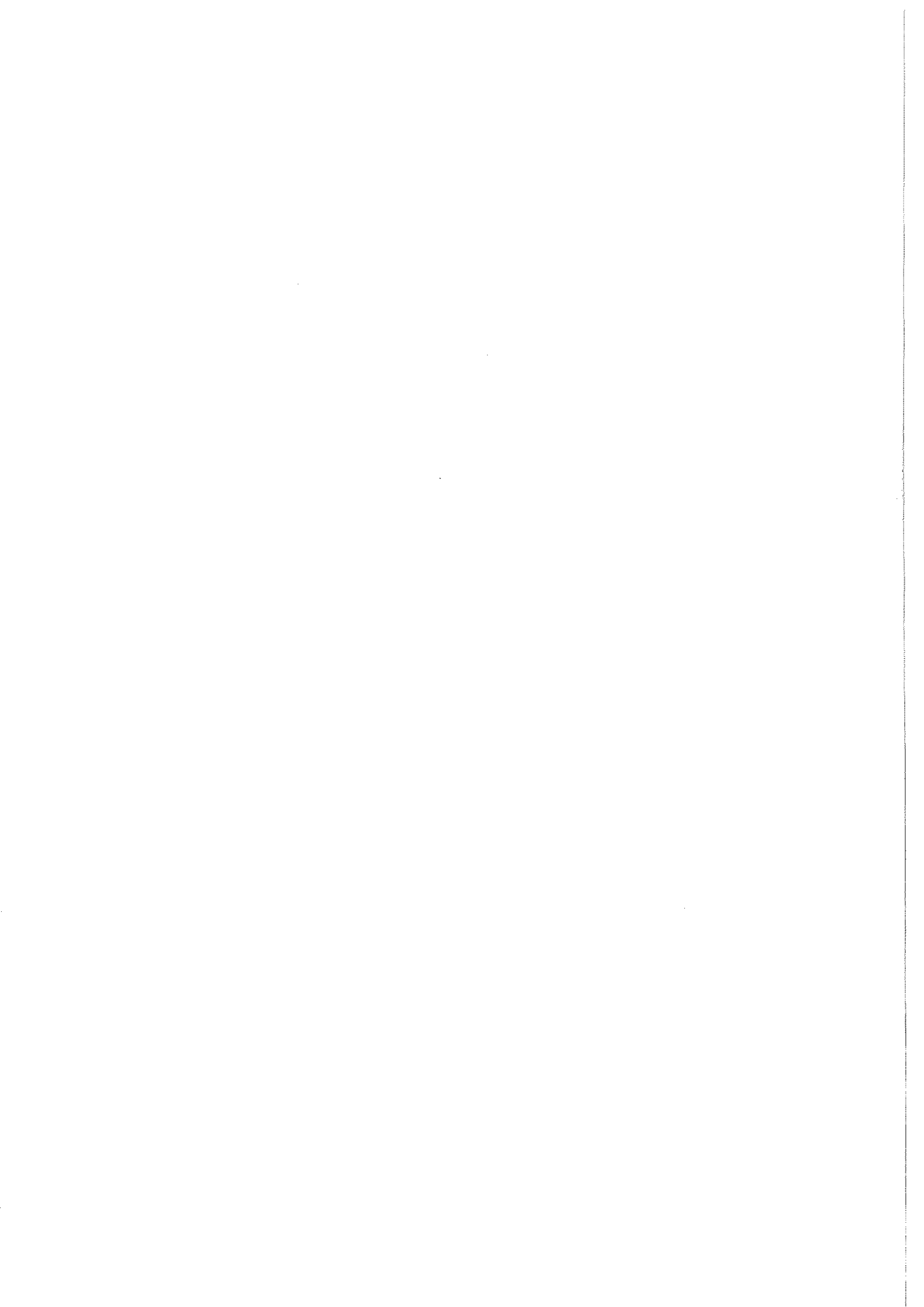


栃木県後期高齢者医療 広域連合年報

平成22年度



はじめに

はじめに、この度の東日本大地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、昭和36年、日本は世界で4番目に国民皆保険を達成しました。今年、皆保険がスタートしてから50年目に当たります。

そして、少子高齢化と高齢者医療費の増加が進む中、皆保険を持続可能なものとするため「後期高齢者医療制度」が創設されました。制度施行から4年目を迎え、被保険者の制度に対する理解も深まり、広く定着してきたところでもあります。

しかしながら、「後期高齢者医療制度」は、年齢到達によりそれまで加入していた保険制度から区分するという基本構造に問題があるとして、厚生労働大臣主催による「高齢者医療制度改革会議」を設置し、現行の制度を廃止することを前提に、新たな制度のあり方が検討されました。

この改革会議では、加入する保険制度を年齢によって区分しないことや、都道府県単位の財政運営とすることなどを柱とする新たな高齢者医療制度案（平成25年3月から施行予定）を、昨年12月にとりまとめました。

この様に制度を取り巻く環境は、大きく揺れ動いているところではありますが、当広域連合といたしましては、現行制度の健全かつ円滑な運営に向け、医療給付の平準化と財政の安定化等に取り組み、保険者としての機能発揮に努めて参りたいと考えております。

本県における平成22年度の医療給付実績を中心とした年報をまとめましたので、統計資料としてご活用いただければ幸いにございます。

平成23年10月

栃木県後期高齢者医療広域連合
事務局長 須田道夫

目 次

I 栃木県後期高齢者医療広域連合の概要

1 広域連合の組織	1
2 議会、議員	3
3 高齢者医療の変遷	4
4 広域連合の沿革	6

II 後期高齢者医療制度の概要

1 被保険者	8
2 被保険者証	8
3 医療を受けるとき	9
4 保健事業	1 2
5 保険料	1 3
6 保険料の軽減措置	1 3
7 保険料の納付方法	1 4
8 医療費の財源内訳	1 5
9 広域連合と市町の役割分担	1 5

III 統計資料

1 資格関係	
(1) 全国人口	1 6
(2) 栃木県人口	1 7
(3) 後期高齢者医療被保険者数	1 8
(4) 市町別後期高齢者医療被保険者数	1 9
(5) 被保険者の構成状況	2 0
(6) 被保険者の異動状況	2 2
2 保険料	2 3
3 給付関係	
(1) 療養給付費の状況	2 4
(2) 療養費の状況	4 2
(3) 高額療養費の状況	5 6
(4) 高額介護合算療養費の状況	5 8
(5) 葬祭費の状況	6 0
(6) 一人当たり医療費の状況	6 2

IV 付録

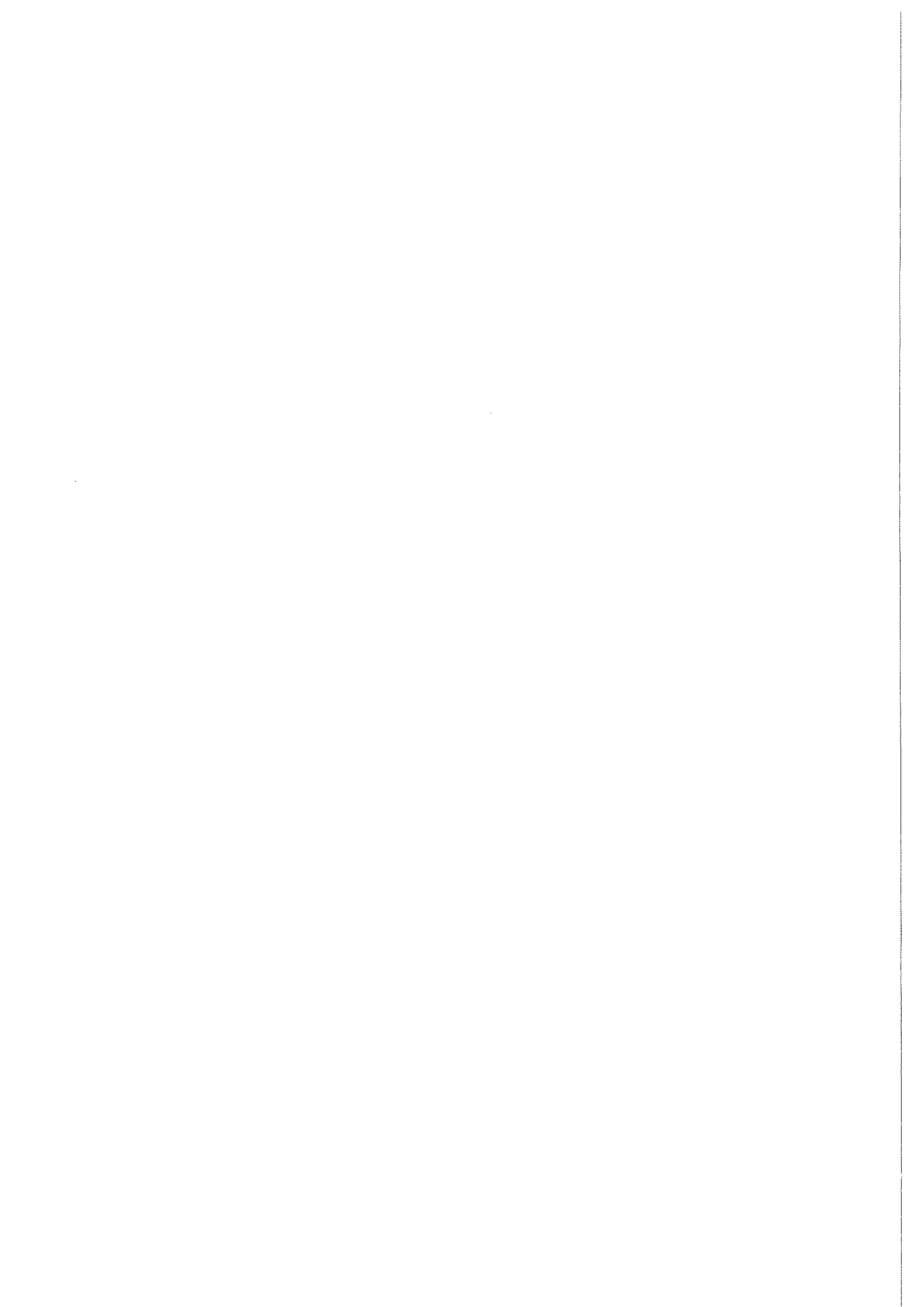
1 参考資料

(1) 医療機関等の状況	64
(2) 健康診査の状況	65
2 規約	68
3 運営懇談会	73
4 情報公開・個人情報保護審査会	73
5 平成22年度情報公開・個人情報保護制度運用状況	73
6 職員情報等	74
7 広域連合電算処理システムの概要	75

この年報の見方

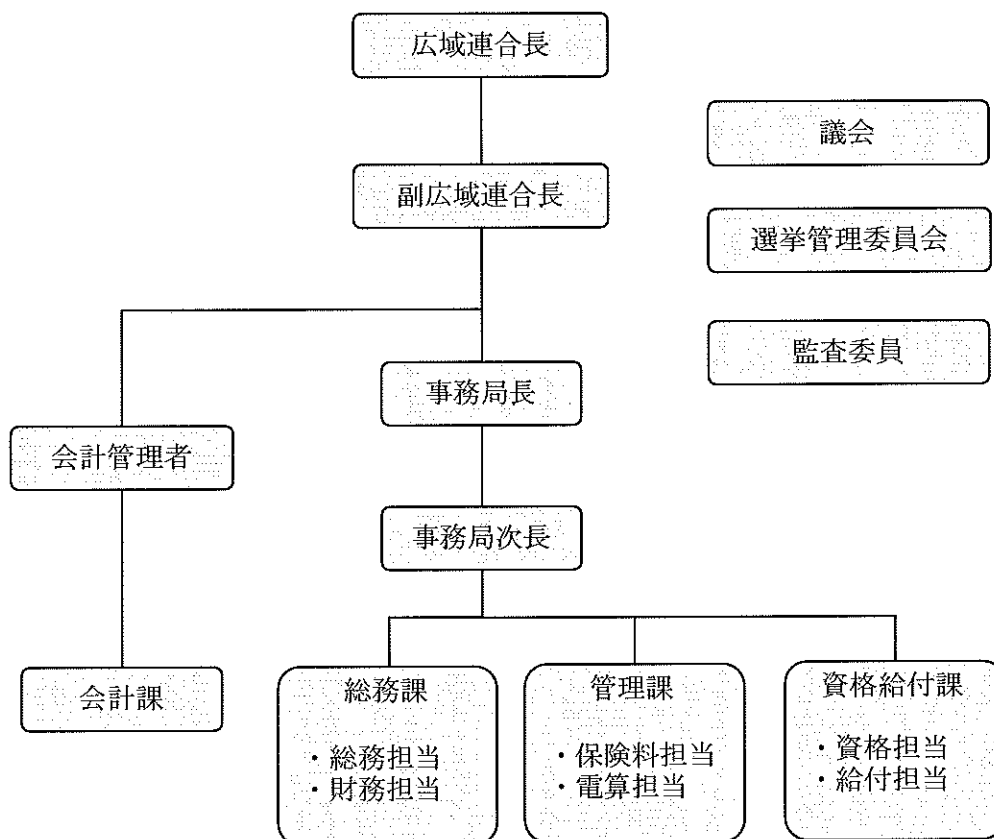
- 1 『Ⅱ後期高齢者医療制度の概要』は、年報発刊時の内容です。
- 2 『Ⅲ統計資料－3給付関係』は、栃木県後期高齢者医療広域連合における平成22年度の実績（平成22年3月診療（4月請求分）から平成23年2月診療（3月請求分）までの12ヶ月）を掲載しております。
- 3 『Ⅲ統計資料－3給付関係』の（1）療養給付費の状況⑥及び⑦の食事の件数、標準負担額、保険者負担額は①及び③の入院の再掲です。
- 4 『Ⅲ統計資料－3給付関係－（3）高額医療費の状況』『Ⅲ統計資料－3給付関係－（4）高額介護合算療養費の状況』では、負担割合1割のうち、低所得者Ⅰ及び低所得者Ⅱについて再掲しました。
- 5 『Ⅲ統計資料－3給付関係－（6）医療費状況一覧』の医療費は、入院、入院外及び歯科の診療費のほか、調剤、訪問看護療養費、療養費の費用額（患者の自己負担分を含む）の合計です。
- 6 『Ⅲ統計資料』及び『Ⅳ付録（2）健康診査の状況』中の平均値、割合等の端数処理については、四捨五入しています。

I 栃木県後期高齢者医療 広域連合の概要



1 広域連合の組織（平成23年10月17日現在）

(1) 組織図



(2) 執行機関及び各種委員等

① 広域連合

役職	氏名	備考
広域連合長	佐藤 栄一	宇都宮市長
副広域連合長	古口 達也	茂木町長
会計管理者	原田 民男	足利市会計管理者
事務局長	須田 道夫	識見者

② 選挙管理委員会

役 職	氏 名	備 考
選挙管理委員会委員長	坂本 隆重	識見者
選挙管理委員会委員	伊藤 一徳	識見者
	柳田 律男	識見者
	菅谷 忠	識見者
選挙管理委員会補充員	竹田 平	識見者
	半田 博	識見者
	青木 貞夫	識見者
	日賀野 充	識見者

③ 監査委員

役 職	氏 名	備 考
代表監査委員	山本 寛	識見者
監査委員	大川 秀子	広域連合議会議員 (栃木市議会議長)

2 議会、議員（平成23年10月17日現在）

(1) 概要

栃木県後期高齢者医療広域連合議会の議員定数は、34名です。

広域連合議会議員は、栃木県内の全ての市・町の長または議員の中から、人口に応じた人数が選挙により選ばれています。なお、議員の任期は、各市・町における長または議員としての任期と同一です。

(2) 議員名簿

議長	岡部 正英	佐野市長
副議長	真瀬 宏子	野木町長

番号	選出市町名	氏名	公職名
1	宇都宮市	西 房美	議員
2		今井 恭男	議員
3		細谷 美夫	議員
4	足利市	大豆生田 実	市長
5		河内 利雄	議長
6	栃木市	鈴木 俊美	市長
7		大川 秀子	議長
8	佐野市	岡部 正英	市長
9		山越 密雄	議員
10	鹿沼市	佐藤 信	市長
11		富久田 耕平	議長
12	日光市	斎藤 文夫	市長
13	小山市	大久保 寿夫	市長
14		野村 広元	議長
15	真岡市	井田 隆一	市長
16	大田原市	津久井 富雄	市長

番号	選出市町名	氏名	公職名
17	矢板市	遠藤 忠	市長
18	那須塩原市	栗川 仁	市長
19		君島 一郎	議長
20	さくら市	人見 健次	市長
21	那須烏山市	大谷 範雄	市長
22	下野市	広瀬 寿雄	市長
23	上三川町	星野 光利	町長
24	益子町	大塚 朋之	町長
25	茂木町	大坪 隆	議員
26	市貝町	入野 正明	町長
27	芳賀町	豊田 征夫	町長
28	壬生町	小菅 一弥	町長
29	野木町	真瀬 宏子	町長
30	岩舟町	茂呂 幸司	町長
31	塩谷町	手塚 功一	町長
32	高根沢町	高橋 克法	町長
33	那須町	高久 勝	町長
34	那珂川町	大金 伊一	町長

3 高齢者医療の変遷

(1) 高齢者医療の歩み

昭和48年

老人医療費の無料化(70歳～) (自治体レベルでは昭和35年～)

昭和58年

老人保健法を制定(老健制度)

平成9年

政府・与党にて新しい制度の検討を開始

平成11年

老健拠出金不払い運動

平成12年

「平成14年には老健制度を廃止して新たな制度を」

平成14年

新制度まとまらず、次の課題に

平成18年

後期高齢者医療制度の創設

10年以上にわたる
抜本改革の議論

(2) 後期高齢者医療制度施行と制度の見直し

平成20年

4月 **後期高齢者医療制度施行**

6月 政府・与党による制度見直し

7月 低所得者に対する保険料の軽減対策(特別対策)の実施
普通徴収の対象者の拡大

平成21年

1月 自己負担限度額・一部負担金の軽減

4月 被用者保険の被扶養者であった者に対する保険料軽減措置の延長
低所得者に対する保険料軽減措置
口座振替との選択制の実施

9月 [民主党政権が誕生] 後期高齢者医療制度を廃止し、新たな後
期高齢者医療制度とする方針を表明

11月 高齢者医療制度改革会議を設置(厚生労働大臣主宰)

平成22年

8月 高齢者医療制度改革会議において、
新たな高齢者医療制度についての中間とりまとめを発表

12月 高齢者医療制度改革会議において、
新たな高齢者医療制度についての最終とりまとめを発表

平成23年

6月 政府・与党社会保障改革検討本部において、
社会保障・税一体改革成案がとりまとめられ、
7月1日、閣議に報告

4 広域連合の沿革

(1) 広域連合設立に向けての準備

平成18年

- 6月 政策懇談会後期高齢者医療広域連合委員会設置
後期高齢者医療広域連合設立準備作業チーム編成
- 9月 広域連合設立準備委員会設置

(宇都宮市本町10番7号に事務局を置く)

平成19年

- 1月 栃木県知事あてに、広域連合設立を申請
栃木県知事が、広域連合設立を許可

(2) 広域連合設立以降

平成19年

- 2月 広域連合設立
広域連合長選挙
初代広域連合長に吉谷宗夫氏（足利市長）選出

2月

～

- 3月 各市・町の議会において広域連合議会議員選挙
平成19年第1回議会臨時会
初代副広域連合長に清水英世氏（壬生町長）選出
初代議長に千保一夫氏（大田原市長）、
初代副議長に山越密雄氏（佐野市議会議長）選出

8月 第1回運営懇談会

9月 第2回運営懇談会

10月 平成19年第2回議会定例会

11月 平成19年第3回議会臨時会

平成20年

1月 情報公開・個人情報保護審査会

2月 平成20年第1回議会定例会

3月 後期高齢者医療被保険者証発行

事務所移転（宇都宮市本町3番9号 栃木県本町合同ビル2階）

4月 後期高齢者医療制度施行

5月 広域連合議会議員全員協議会

厚生労働大臣あてに、議長名にて『制度の骨格を堅持しつつ、
改めるべき点は改められたい』との趣旨の要望書提出

7月 平成20年第2回議会臨時会

- 10月 平成20年第3回議会定例会
11月 第3回運営懇談会
平成21年
2月 平成21年第1回議会定例会
5月 平成21年第2回議会臨時会
第2代議長に佐藤栄一氏（宇都宮市長）、
第2代副議長に西田智男氏（足利市議会議長）選出
6月 広域連合長選挙
第2代広域連合長に千保一夫氏（大田原市長）選出
10月 平成21年第3回議会定例会
第3代副議長に永島源作氏を選出
11月 第4回運営懇談会
平成22年
2月 平成22年第1回議会定例会
6月 平成22年第2回議会臨時会
第3代議長に岡部正英氏（佐野市長）、
第4代副議長に真瀬宏子氏（野木町長）選出
広域連合長選挙
第3代広域連合長に佐藤栄一氏（宇都宮市長）選出
10月 平成22年第3回議会定例会
第2代副広域連合長に古口達也氏（茂木町長）選出
11月 第5回運営懇談会
平成23年
2月 平成23年第1回議会定例会

